

13 令和7年度体力づくり推進計画

<全体計画>

達成目標

- 運動を楽しく行えるような取り組みを通し、運動する機会を増やし、運動することを好む児童を増やす。
- 体力テストの総合評価のAB率—DE率を30%以上を維持する。

学 校 の 状 況

- ・ 全校児童数56人の小規模校
- ・ 地域の行事に参加する児童が多く、学校と地域との関係が深い。
- ・ 保護者の大部分は、広島・呉方面へ通勤し、自営その他はわずかである。

児童生徒の運動・生活習慣の実態

- ・ 100%の児童が、運動することが好きで、体育の授業が楽しいと感じている。
- ・ 約6割の児童が、1日8時間以上睡眠を取っている。
- ・ 4割弱の児童が、1日に3時間以上テレビやパソコン等の画面を見ている。

広島県体力・運動能力、運動習慣等調査結果との比較から

- ・ 第5学年と第6学年の女子において、県平均値かつ全国平均値より低い項目が多い。
- ・ 全体として「握力」「上体おこし」「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」が、県平均値かつ全国平均値より低い学年が多い。

実態把握

児童生徒の実態や体力・運動能力調査等から明らかになった課題

- ・ 握力や筋力や持久力や投力の運動能力が劣っている傾向にある。
- ・ 昨年に引き続き、第5学年、第6学年の女子は、全般的に運動能力が劣っている傾向がある。
- ・ 運動の得意な児童と苦手な児童の二極化傾向が見られる。

取組事項

- 校庭の遊具をサーキット運動として遊べるように表示を工夫したり、遊び方を紹介したりする。
- 各児童の新体力テストの結果を保護者や児童に知らせ、運動への関心を高めさせる。
- 町内の体育主任と連携を深め、情報交換を行い、体力の向上を図る。
- 定期的に実施する体育朝会で、児童に運動の楽しさを体験させる。
- 前年度の課題を含め、体力を高めるために、「貯筋通帳」を作成し、目標をもって楽しく取り組めるようにする。
- 安芸郡及び坂町の体育的行事に進んで参加するよう奨励する。

期待される効果

- ・ 体育科の授業を楽しみにし、意欲をもってがんばれる児童が増える。
- ・ 児童や保護者の運動への関心が高まり、家庭での親子の運動量が増える。
- ・ 同一町内の様子を知ることによって、体育科授業の取組み意欲が高まる。

体 制

推進組織

- ・ 体育主任が中心となり、低・中・高学年ブロックと年間計画を練り、体育科の充実を図る。
- ・ 生徒指導部や体育主任・保健主事が中心となり、体育的行事や保健行事を計画し、取り組む。
- ・ 郡や町主催の体育的行事に向け、高学年担任と連携を保ち、計画的に取り組む。

令和7年度体力づくり推進計画 ＜年間指導計画＞

達成目標

- ・運動を楽しく行えるような取り組みを通し、運動する機会を増やし、運動することを好む児童を増やす。
- ・体力テストの総合評価の AB 率—DE 率を 30%以上を維持する。

	～3月	4月	5月	6月	7・8月	9月	10月	11月	12月	
	Plan	Do		Check	Action	Plan	Do		Check	Action
	結果分析・計画立案		計画に基づき実施		新体力テストの実施 結果分析	見直しと改善計画の立案 計画に基づき実施			評価 見直し・次年度の計画	
【体育科・保健体育科】	体づくり運動系		握力・走力強化月間		水泳運動系	陸上運動系		持久走月間		ボール運動系
①	「貯筋通帳」を配布し、子供たちが、 楽しく運動や外遊びができるようにする。		器械運動系		授業づくりについて、校内研修や互いに交流する場を設定し、授業の充実を図る。					
【教科外】	ランランタイム		体育朝会							
②	体育主任が中心となり、年間を通じて体力が高まるような運動に取り組む。									
【日常生活等】			「貯筋通帳」に、運動したポイントを記入させる。		生活リズムチェック週間		感謝祭の目標ポイントを決める。		生活リズムチェック週間	
③			長期休業中の歯みがきの状況のセルフチェックを行わせる。		長期休業中の1週間程度、早寝、早起き、朝食の様子などを振り返るための「生活リズムチェックシート」を配布し、記入させる。		長期休業中の1週間程度、早寝、早起き、朝食の様子などを振り返るための「生活リズムチェックシート」を配布し、記入させる。			
【家庭・地域との連携】					夏休みのプールの監視やラジオ体操の出席を確認していただく。		運動会への取組に協力を得て、当日も応援をよびかける。		校区を走る持久走大会のため、応援をよびかける。	
④										